

第 30 回 100 年史誌部会議事録

日時：2008 年 10 月 8 日(水) 16:10～17:10

場所：管理棟 2 階 第一応接室

出席者：横山部会長，松田，大町，小山，栗野，小池，神戸，山崎，片山，奥山各委員，
小室編集局員，斉藤編集補助員，

欠席者：高畑，金子各委員，(赤平委員は異動→後任未定)

【配布資料】

[資料 30-1] 写真アーカイブス web の印刷資料(1 枚)

[資料 30-2] 100 周年記念誌(Journal)第 30 回部会議題(両面印刷 2 枚)

[資料 30-3] 「ぎょうせい」の今後の業務予定(資料 30-2 の最後のページ)

[資料 30-4] 高分子系キーワード(A3 版 1 枚)

[資料 30-5] 米沢五感塾 開催予定！(4 枚)

[資料 30-6] 「今月の話題」の今後の進め方について(両面印刷 1 枚)

[資料 30-7] 大学院制度の変遷(両面印刷 2 枚)

D) 連絡事項

1. 100 年史編集局 web に写真アーカイブスを掲載した旨，資料 30-1 に基づき斉藤編集補助員より報告があった。第一回卒業記念帖は大正 2 年のものであり，古いガスタンクが写っている。高解像度のデータもあるので必要な場合は編集局へ依頼のこと。
2. 「今月の話題」11 月分は小室編集局員が担当する旨報告があった。

II) 協議事項

1. 100 周年記念誌について

(1) 記念誌の進捗状況について資料 30-2 に基づいて松田委員より説明があった。主なポイントは以下の通りである。

- ・ キーワード・コンセプトの執筆状況は 50～60%。完成を目指す必要がある。併せて資料 30-4 を用いて栗野委員より高分子系のキーワードの説明があった。
- ・ 歴史的写真のリストアップを進める必要がある。奥山委員より電気電子工学科のアルバムリストについて説明があった。
- ・ ぎょうせいとの打ち合わせを 9 月 24 日に行い記念誌の各章の担当を以下のように決めた。
 - 「4つの象限と工学的風土論」：ぎょうせい村田氏が執筆。
 - 「百年の年代記」：ぎょうせい側で執筆を担当することに変更。このため完成時期

を予定よりも遅らせることにする。「百人の声」は作業を前倒しにし、2009年4月に原稿完成とする。

- ・ ぎょうせいとの定期的な打ち合わせを設定する。部会日あるいはその前後。今回はぎょうせいの都合がつかなかった。11月はできれば部会日に合わせて来たいとのぎょうせい側の意向。

(2)「百人の声」の先行執筆依頼について下記のように報告があった

物質化学：神田元教授，志田元教授，機械システム：梅宮元教授，本田元技術職員，電気電子：松下教授，情報科学：田中准教授。依頼がまだの方は依頼をお願いいたします。

(3)記念誌掲載用写真の撮影募集の件

写真撮影を進める必要がある。撮影の必要な写真のリストアップを行う。10月20日の週にぎょうせい側で企画取材・撮影の予定。どんな写真がいいのか、(無駄になってもいいので)撮影を依頼しておいたほうがいいのでアングル・場所・季節などアイデア・希望を出してください。吾妻祭は来年でも間に合うが、天候などの問題もあるので今年も撮影できる方(横山部会長，山崎委員，片山委員)は撮影をお願いいたします。鈴木孝則さん，遠藤孝さん，近野さん，青木和恵さんがキャンパスの写真をお持ちなのではないかとのお話があった。

(4)「ぎょうせい」の今後の業務予定について資料30-3に基づいて松田委員より説明があった。

- ・ 「4つの象限と工学的風土論：については従来どおりの進行で平成21年2月に執筆終了予定。
- ・ **ぎょうせいと大学の業務契約は編集局の判断で弾力的に運用するとの非公式話合いが部会長と木村会計係長とでなされ「百年の年代記」については執筆をぎょうせい側が引き受けることになった。スケジュールは従来の予定よりも遅くなり，形式的には平成21年3月時点では未完成になる予定。**
- ・ 「百人の声」については当初の予定より早まり，平成21年3月の完成を目指す。
- ・ 「キーワード・コンセプト」は従来どおりの進行で，平成21年3月の完成とする。

2. 百年史

(1)「今月の話題」(11月分)について，資料30-5に基づき山崎委員より説明があった。10月24～26日にかけて「米沢五感塾」が開催される。各イベントごとでも参加が可能なので是非ご出席ください，とのお話であった。

(2)「今月の話題」の今後の進め方について資料30-6に基づき小室編集局員より説明があった。今後は執筆者を担当となった委員が選定し，執筆を依頼する形としたいとの提案があり，了承された。執筆者への依頼が困難な場合は担当委員自身が執筆する形になる。順番はこれまでの順序どおりで行うことも合わせて了承された。2008年12月分については栗野委員に依頼することになる。以降，金子→(赤平委員の後任)→松田→小山→奥山→片山→小池→高畑→大町→神戸→山崎 各委員の順で執筆をお願いする形になることも了承され

た.

(3)大学院制度の変遷について資料 30-7 に基づき小室編集局員より説明があった.

- ・ 明治期の大学院制度と学位制度
- ・ 大正～戦前までの大学院制度と学位制度
- ・ 新制大学院の発足
- ・ 大学院設置基準の制定
- ・ 大学院制度の弾力化

などの大きな変革は学生数の増加に伴うもの、とのことであった.

III) その他

1. 歴史的写真のリストアップ(重文資料室内の写真)について、未了のところは調査・報告をお願いする.
2. 100 人の声の執筆依頼(先行分について)、未了の方は依頼を進めていただき、次回部会で報告をお願いする.

IV) 次回部会について

今回は 11 月 5 日(水)16 時 10 分～ 管理棟 2 階第一応接室.

2008 年 10 月 8 日